

# ネイパリンピック

## 1, 趣旨

施設を開放し、施設の利用促進と地域における体験活動の充実を図る。

## 2, 期日

平成26年9月28日(日)

## 3, 主催・実施場所

北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル森

## 4, 参加対象

どなたでも

## 5, 参加実績

来場者数 739名

## 6, プログラム内容



	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
28日	準備、打合せ		受付、体験メニューブース、食堂開始				もちまき	後片付け		

## ○体験メニュー

- ・ 体育館 室内スポーツ体験コーナー
- ・ グラウンド 30m走、50m走、親子ぴよんぴよん、ペタンク
- ・ Aサイト パン焼き、ジンギスカン、流しそうめん
- ・ Bサイト 靴とばし、ロケットとばし
- ・ Cサイト ジュース販売、ポップコーン、綿菓子、かき氷、焼き鳥
- ・ 大研修室 お手玉ジャグリング、空き缶積み、うちわ制作
- ・ 中研修室 フリースペース (プラレール展示)
- ・ 食堂 食事販売

※スタンプラリー

## 7, 活動の様子

施設を開放し、施設の利用促進と地域における体験活動の充実を図ることを趣旨として、春の「子どもの日まつり」に続く秋の施設開放事業である。当日は、天候に恵まれ、地元森町に限らず、八雲町、七飯町、函館市、北斗市などから親子、家族連れで739名の来場があった。参加者は、受付で「スコアカード」や「スタンプラリーカード」を受け取り、



それを手にして、グラウンドで50m走のタイム計測、体育館で大玉転がしのタイム計測などを体験したり、会場内に設置されたスタンプポイントを探し当て、カードへ記録していった。6個のスタンプを集めると景品がもらえるということで、特に子供たちは、各ブースをくまなくまわって歩き、途中にある無料の綿アメやかき氷なども口にしながら楽しんだ。昼食時は、食堂でカレーライスやラーメン、野外でジンギスカンを食べたり、パン焼き体験、流しそうめんの体験でお腹を満たしていた。他にも、炭酸入浴剤を使ったロケットとばし、森町ペタンク協会による「ペタンク体験教室」など、親子で楽しむことのできる体験メニューに人気が集まった。ネイパリンピック最後のイベントとして恒例の「もちまき」を行い、3千個もの餅があつという間に拾われてなくなった。高校生や大学生、地域のシニアボランティアの協力で後片付けを済ませ、今年度のネイパリンピックも無事に終了した。

## 8, 参加者の声 (アンケートより抜粋)

- 子どもの日まつりではできなかったパン焼き体験や流しそうめんを体験できて嬉しかった。
- ネイパル森に一度行ってみたいと思っていた。今回、来て良かった。



## 9, 事業の分析と考察

本事業は、施設を開放し、施設の利用促進と地域における体験活動の充実を図ることを趣旨として体育の日にちなんだ施設開放事業である。ネイパル森で提供する体験メニュー、プログラムを広く道南地域の方々に周知することで、家族での利用を促進し、体験学習が子どもたちの豊かな情操を育むために効果的であることを体感させることができる。今年度から森町ペタンク協会の指導で「ペタンク体験教室」ブースを設けた。「ペタンク」は、子どもも大人も一緒になって楽しむことができるニュースポーツとして注目されている。ネイパル森でも体験プログラムとして導入し、好評価を得ている。今年度で「ネイパリンピック」は3回目となるが、今後もマンネリ化させることのないように新しい体験プログラムを開発し、紹介していけるようにしたい。企画時点では、一千人超の来場者を見込んでいたが、結果700人弱と予想を大幅に下回ってしまった。他のイベント情報などを調査したうえで開催時期等を決定し、より多くの参加を促すようにしたい。



## 10, 成果と課題

### ○成果

- ・新たに「ペタンク体験教室」ブースを設置し、多くの方に関心をもってもらうことができた。
- ・森町ペタンク協会、高校生ボランティアセミナーと連携することで、事業運営に必要な協力者（ボランティア）の確保ができた。

▼課 題

- ・同地域の他イベントと重なってしまい、例年より来場者が減ってしまった。事前に調査をし、開催時期を決定したい。